

## G3クイーンSの主な傾向

### 【血統】

- ・父か母父または祖母父に短距離血統
- ・4L系統内にダンチヒの血

### 【前走】

- ・上り5位以内
- ・前走1600m以下からの延長ローテ
- ・前走が東京マイルG1

### 【キャリア】

直線が長いコースの1600mから2000mで行われた  
上級条件(2勝クラス)以上のレースで連対経験。

※重賞なら3着以内。G1なら4着以内。

※特に上り3位以内での実績

## G3クイーンS 2023『全頭診断書』

・イズジョーノキセキ 6歳

### 【血統評価:▲】

父も母父も短距離血統ではありませんが、  
祖母父ラーイ(欧ブラッシンググループ系)は  
母系に入ってスプリント適性を強化する血統です。

### 【前走評価:東京マイルG1 ○】

### 【キャリア評価:◎】

東京1800m重賞のG2府中牝馬Sを上り最速勝ち。

【くまもん評価:◎】

この馬は高速馬場の外回りを本領としているタイプです。

また、前走と2走前のマイル戦は、この馬には距離が短く、

有馬記念もエリザベス女王杯も、馬場が重めで本馬には不向きでした。

今週の札幌は、雨が降らなければ先週同様に高速馬場になる事が濃厚。

得意の末脚を活かして巻き返す可能性が極めて高いと見ています。

・ウインピクシス 4歳

【血統評価:特になし】

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:特になし】

・キタウイング 3歳

【血統評価:▲】

ダノンバラード産駒の距離適性はマイルから1800m。

最も適性が高いのは1800mです。

札幌適性が高いのも特筆すべき点です。

ディープ系種牡馬と母父に米国型フォーティナイナー系の配合は

直線のトップスピードを大きく底上げする配合で、上り勝負に向いています。

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:▲】

新潟1600m重賞で上り最速勝ち。

中山1600m重賞でも上り最速勝ち。

【くまもん評価:注】

前走のオークスは距離適性の問題で参考外。

本来の適性距離である1800mと、ダノンバラード産駒が得意な札幌に替わる事は、大きな加点材料となります。

問題は、ピークアウトした早熟馬である可能性。

今年の3歳世代が、古馬混合戦でパツとしないのも気になります。

・グランスラムアスク 4歳

【血統評価:特になし】

【前走評価:特になし】

前走で逃げていた馬は評価しにくい対象です。

【キャリア評価:特になし】

・コスタボニータ 4歳

【血統評価:○】

イスラボニータは産駒成績から短距離種牡馬に分類されます。

また、半姉イチオクノホシは阪神と東京のマイル重賞2着馬。

兄弟姉妹の札幌芝成績は、複勝率71.4%/複回率225%

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:○】

阪神1600m重賞で上り3位3着。

3勝クラスの東京1800mで1着。

【くまもん評価:注】

使いべりするタイプで休み明けが狙い目。

・サトノセシル 7歳

【血統評価:○】

父フランケルは、自身も産駒もマイル以下に高い適性を持ちます。  
父の母父がデインヒル(ダンチヒ系)

【前走評価:△】

G3中山牝馬S(内1800m)で上り3位3着

【キャリア評価:○】

去年の当レース2着馬。

3勝クラスの東京2000mで上り2位2着。

【くまもん評価:▲】

7歳と言う年齢はあまり評価できませんが、  
右回りの1800mは5回走って複勝率80%  
軽い馬場も得意で、休み明けも走るタイプ。

軽く扱う訳には行かないと考えます。

・ジネストラ 5歳

【血統評価:▲】

父は短距離種牡馬のロードカナロア

当レースの勝ち馬シンコウラブリーの牝系で、  
半兄コーディーノは当コースの札幌2歳Sと、東京1800mの  
G3東スポ杯2歳Sの優勝馬。

半姉チェッキーノは東京2000mG2の勝ち馬で、  
その仔ノッキングポイントは阪神1800m外のG3毎日杯2着馬。

末脚を要求されるコースの重賞で活躍する一家です。

【前走評価：△】

【キャリア評価：△】

2勝クラスの東京マイル戦で上り3位2着。

【くまもん評価：△】

気性的に難しいタイプでアテにしにくい面はありますが、  
血統背景から連下の押さえは必要だと考えます。

・トーセンローリエ 3歳

【血統評価：特になし】

【前走評価：特になし】

【キャリア評価：特になし】

・ドゥーラ 3歳

【血統評価：▲】

母父キングヘイローは短距離種牡馬。

【前走評価：△】

オークスで上り2位3着。

【キャリア評価：○】

当コースの重賞G3札幌2歳Sを上り最速勝ち。

【くまもん評価：△】

とにかくスタートが悪いので、展開に左右されるタイプ。  
マイル戦は忙しいですが、1800m以上なら  
確実に末脚を伸ばすタイプですので消せません。

・ビジン 4歳

【血統評価:△】

母父ジャイアンツコースウェイは短距離血統。  
牝系ファミリーは欧州では優秀ですが・・・  
日本では芝の長距離戦かダートに適性が偏ります。

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:特になし】

・ミスニューヨーク 6歳

【血統評価:特になし】

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:特になし】

中山や小倉の小回りコースで  
メンバー上位の上りを使う、いかにもキングズベスト産駒  
と言ったタイプの馬です。

札幌よりも函館で買いたい「非主流タイプ」です。

・ライトクオンタム 3歳

【血統評価:▲】

ディープ牝馬の1～3人気は、当コース複勝率65.4%  
祖母父にダンチヒを持っています。

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:▲】

中京1600m重賞で上り最速勝ち。

【くまもん評価:△】

オークスは距離。

桜花賞は18頭立ての最内枠で揉まれてパニックに。

母イルミナントは米国の芝1800G1ホースで、  
意外と1800mが合う非根幹タイプのディープ産駒かも。

気性面の成長と枠順が課題になりそうですが、  
血統からは無視できない存在です。

・ルビーカサブランカ 6歳

【血統評価:特になし】

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:特になし】

【くまもん評価:×】

純粋な内回りに適性が高いタイプで、  
距離も1800mより2000mが合っています。

今回はルメール殿が乗りますので  
やむを得ず押さえますが、他の騎手ならバツサリです。

・ローゼライト 5歳

【血統評価:特になし】

【前走評価:特になし】

【キャリア評価:特になし】